

Ovation redundancy - MultiSequencer Synchronization

ミッションクリティカルな状況で冗長度を上げるために、バックアップOvationで同じショーを実行する**MultiSequencer Synchronization**機能が使用できます。

マスターとスレーブが(TimeCodeチェイスなどで)同期している場合、シンクロナイゼーションはサンプル精度で行われます。

SlaveのOvationには、Pre-Rollに2秒以上が必要です。

クリティカルなアプリケーションの場合、2秒の無音CueをShowの開始部分に加えて下さい。

複数台のOvationを同期させるには、GPSソースを使用することも可能です。

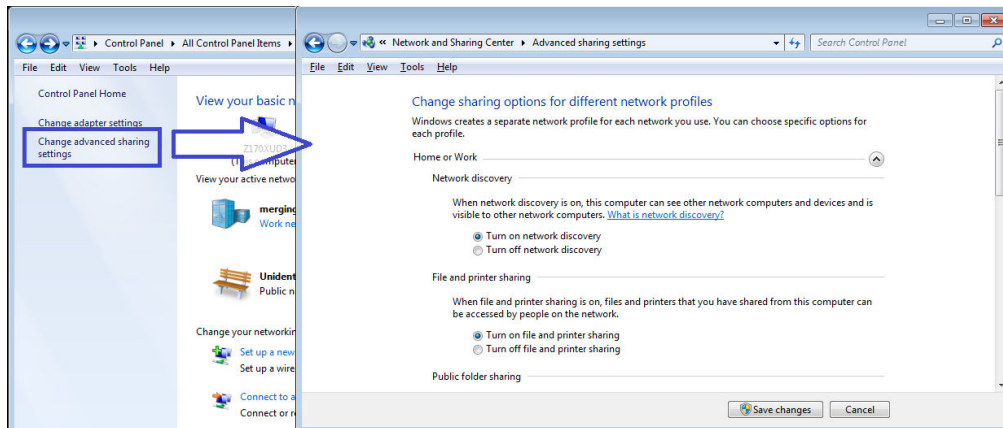
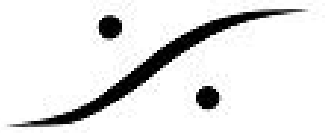
注意: RAVENNA ネットワークは、複数台のシーケンサーをリンクするために使用できません。別のネットワークが必要となります。

- 1. Windowsネットワークの設定
 - Windowsのネットワーク探索の有効化
 - IPアドレスの設定
 - ドメインの設定
 - ワーキンググループの設定
 - Windowsを介してのアクセスのチェック
 - 資格情報に関する注記(パスワード)
- 2. Ovationの設定
 - OvationのSettings
 - Showの設定
 - Cueの設定
 - Synchronization Tokens
- 3. Time Synchronization

1. Windowsのネットワークを設定する

2台のOvation PCを通信させるためには、Windowsネットワークに設定を行わなければなりません。これにはAdministrator権限が必要となります。

- ネットワーク探索が有効になっていることをチェックしてください。
コントロールパネル > ネットワークと共有センターを開き、共有の詳細設定の変更をクリックします。

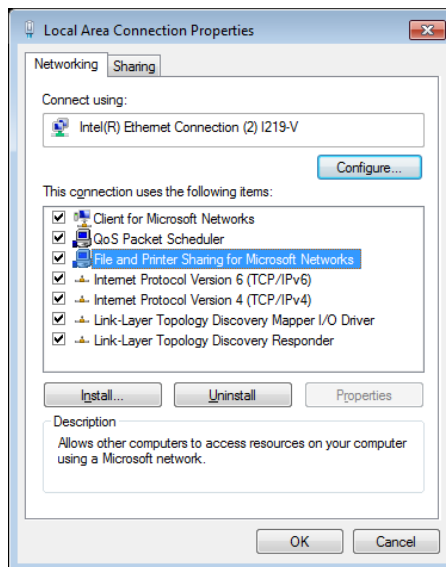


ネットワーク探索と ファイルとプリンターの共有 が有効になっていることを確認してください。

この設定はホームまたは社内 と パブリック で設定できます。使用するネットワークのタイプに合わせて設定してください。

ネットワークのタイプはネットワークと共有センター で設定できます。

コントロールパネル > ネットワークと共有センター を開き、使用しているLANのアイコンを選択し、右クリックプロパティを選択してください。



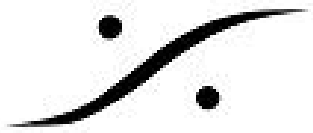
Microsoft ネットワーク用クライアント, Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有, インターネット プロトコル バージョン 6/ バージョン 4 にチェックを入れて下さい。

● IPアドレスの設定

PCに複数のネットワークが接続されている場合、OSはネットワークのデータをIPアドレスを使用してソートし、正しいネットワークに送ります。

PCに2つ(以上)のネットワークが接続されている場合、IPアドレスのルートが異なっている必要があります。正しく設定されていない場合、PCはネットワークのデータを正しく送ることができません。

各PCは、ネットワーク毎に異なるIPアドレスを持っている必要があります。



RAVENNAネットワークを例として挙げると、

Ovationのコマンド用のネットワークIPが **192.168.0.10** で、RAVENNAが**169.254.25.20** の場合は**OK**です。

Ovationのコマンド用のネットワークIPが **10.0.25.20** で、RAVENNAが**169.254.25.20** の場合は**OK**です。

Ovationのコマンド用のネットワークIPが **169.254.15.10** で、RAVENNAが**169.254.25.20** の場合は**OKではありません**。

Ovationのコマンド用のネットワークIPが **192.168.0.10** で、RAVENNAが **192.168.10.20** の場合は**OKではありません**。

IPアドレスは、**コントロールパネル > ネットワークと共有センター** を開き、使用している**LANのアイコン**を選択し、右クリック**診断**を選択すると確認することができます。

ネットワークの設定により、PCはIPアドレスを自動取得(DHCP)することができます。静的なアドレスを設定することもできます。

マニュアルでIPアドレスを設定する場合は、**コントロールパネル > ネットワークと共有センター** を開き、使用している**LANのアイコン**を選択し、右クリック**プロパティ**を選択してください。さらに**インターネット プロトコルバージョン 4**(IPv6を使用している場合は**インターネット プロトコルバージョン 6**)を選択し、**プロパティ**をクリックすると設定することができます。

IPアドレスを設定すると、Windowsはサブネット マスク のフィールドは自動的にセットしてくれます。

デフォルト ゲートウェイ と DNS は空白でもかまいません。

OKをクリックして設定を閉じて下さい。

変更した設定を有効にするため、PCを再起動してください。

Note: 127.0.0.0 というIPアドレスは絶対に使用しないでください。

以下の設定を両方のPCで確認しなければなりません。

- **PCの参加しているドメイン**

コンピューターが同じドメインに参加している場合、セキュリティ アクセスがドメイン サーバーに管理されているので、セクション3に飛んで下さい。 詳細はIT管理者にお尋ね下さい。

- **PCがワークグループに参加している場合**

コンピューターが同じワークグループに参加していることを確認してください。

コントロールパネル > システム を開き、**コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定**を確認してください。

変更する必要がある場合、**設定の変更**をクリックして変更してください。

設定後、必ず再起動が必要となります。

● Windowsを介したのアクセスのチェック

マスターのOvationで、リモートするOvationがエクスプローラで表示されることを確認してください:

エクスプローラを開き、アドレスバーにリモートOvationの名前をタイプしてください。例としてOvationBがリモートの場合、\\OvationB と入力してください。

これが動作しない場合、Ovationをリモートすることはできません。

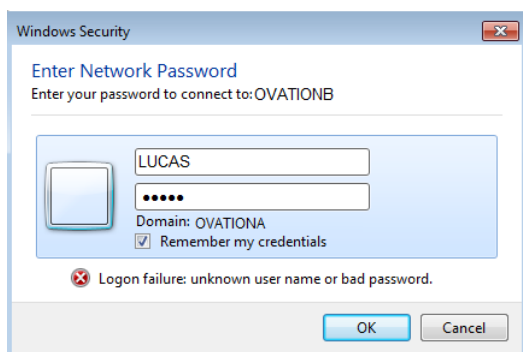
Tip: 両方のコンピューターにパスワードを加えると良いかもしれません。

詳細はWindowsのドキュメントをご覧ください。

● 資格情報に関する注記(パスワード)

アクセスしようとするマシンのユーザーアカウントにアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

下図のスクリーンショットは、OvationAというマシンからOvationBというマシンに接続しようとした場合の例です。OvationBのユーザーアカウントはLucasです。



また、あるフォルダを共有している必要があります。

“Remember my credentials” のチェック・ボックスにチェックを入れていないと、常にユーザー名とパスワードを毎回訊かれます。

Windowsログインの問題: ユーザーアカウントの名前を変更した場合、Windowsは別のコンピュータからログを記録することができず、ローカルでのみ動作します。

継続的に間違ったユーザー名とパスワードのエラーが発生します。

その場合は、新しいユーザーアカウントを作成し、それらの新しい資格情報でリモートログします。

2. Ovationの設定

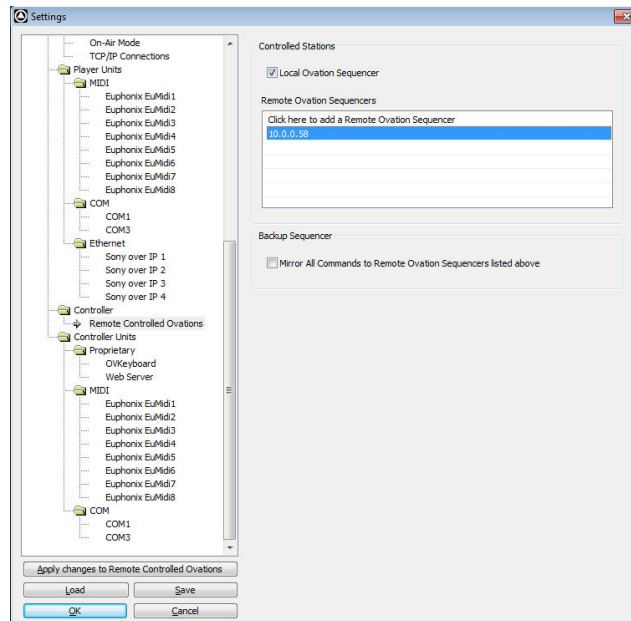
Ovationの設定

マスターのOvationで、**Settings > Application Settings > Controller > Remote Controlled Oventions**を開き、**Local Ovation Sequencer**にチェックが入っていることを確認します。

Remote Ovation Sequencers list にリモートコンピューターのIPアドレスを入力します。ここでは例として**10.0.0.58** とします。

IPアドレスの代わりにコンピューター名を入れると動作しません。

"Mirror All Command..." のチェック・ボックスにはチェックを入れないで下さい。



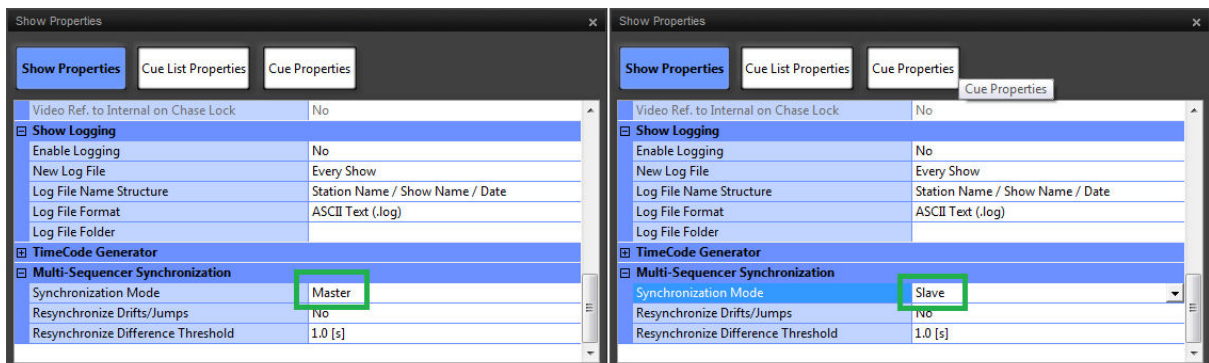
両方のOvationで同じShowが開いていることを確認してください。シンクロナイゼーションはCue List name と Cue Nameを使用します。

Package Showを使用して同じにしておくとい良いでしょう。

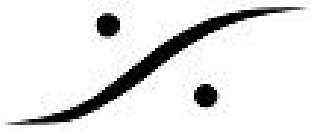
Showの設定

Master側のコンピューターでは、**Show properties > Multi-Sequencer Synchronization**の項目を**Master**に設定してください。

Slave側のコンピューターでは、**Show properties > Multi-Sequencer Synchronization**の項目を**Slave**に設定してください。



Slave側のコンピューターは、さらにre-synchronization を設定しなければなりません:



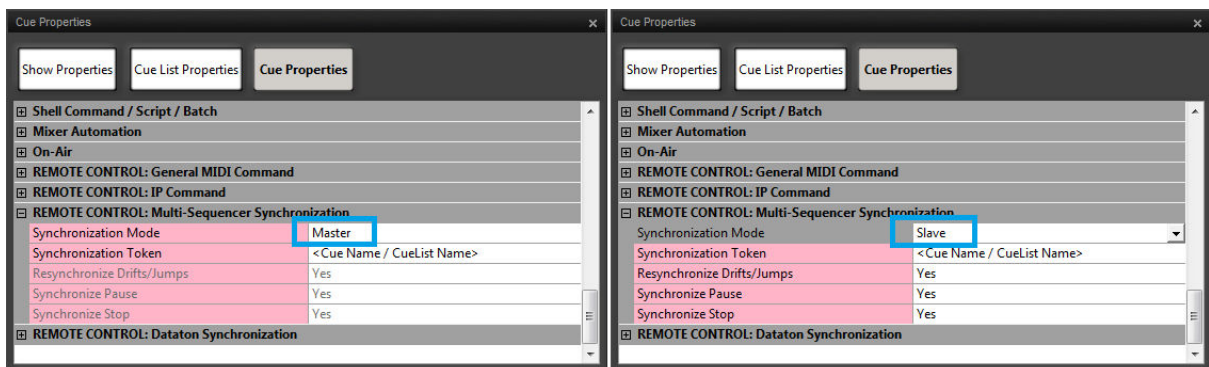
Resynchronize Drifts/Jumps : は、同期のドリフトまたはジャンプが検出された時に、再同期を行うかどうかを設定します。

Resyncize Difference threshold: は、再同期化が行われる前にシーケンサがどのくらい同期していなければならないかを決定します。フィールドに目的のしきい値を入力します。デフォルト値は1.0 [s]です。

Cueの設定

Cueを揃え終えたら、Master側のコンピューターでは、**Cue properties > REMOTE CONTROL: Multi-Sequencer Synchronization** の項目を**Master**に設定してください。

Slave側のコンピューターでは、**Cue properties > REMOTE CONTROL: Multi-Sequencer Synchronization** の項目を**Slave**に設定してください。



Slave側のコンピューターは、さらにre-synchronization を設定しなければなりません:

Resynchronize Drifts/Jumps : は、同期のドリフトまたはジャンプが検出された時に、再同期を行うかどうかを設定します。

Synchronize Pause: Yesに設定すると、MasterのCueがPauseになると、SlaveのCueもPauseします。

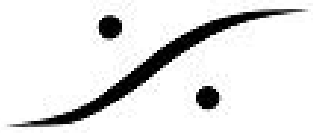
Synchronize Stop: Yesに設定すると、MasterのCueがStopすると、SlaveのCueもStopします。

Synchronization Tokens

OvationはCue NameとCue List Nameから自動的に同期トークン(Synchronization Token)を生成します。

MasterとSlaveのトークンは一致しなければなりません(大文字と小文字を区別します)。

Note: 何らかの理由で自動トークンの生成が適切でない場合、例えば Master OvationのCueがBachと名前つけられ、SlaveではBach名前つけられ、トークンのフィールドに値を入力できます。MasterとSlaveのOvationでは、必ず同じトークン値が使用されなければなりません。



3. Time Synchronization

- MasterとSlaveのShowを同期させる場合、Showの時間は同じでなければなりません。そのため、タイムコードを使用することをお勧めします。全てのOvationコンピューターのShow PropertiesでTimeCode Chaseを設定し、Show Time Modelに設定する必要があります。
- 同期をサンプル精度に高めるため、ビデオ リファレンスを使用し、MassCoreモードで使用してください。
- Ovationコンピューターを同じTCソースに繋いで下さい。RAVENNA Easy Connectで全てのOvation MassCoreを同じHorus/HapiのLTCIに接続させてください。
- 音が出力されるまで、2秒のプリロールがSlaveのOvationIには必要です。